

特集

みんなで育むつながり広がる

こども食堂

■問合せ…こども家庭センター（☎025-520-5725）

子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりは、地域全体で取り組む大切な課題です。「こども食堂」は、子どもたちに食事を提供するだけでなく、利用者、運営者、支援者など、人と人とのつながりを育み、地域に笑顔と安心をもたらす場として広がっています。市では昨年3月に策定した「上越市こども計画」に基づき、こうした活動を支える取り組みを進めています。今号では、市内で活動するこども食堂の現状や、市民としての関わり方などについて紹介します。



こども食堂はこんなところです

子どもが1人でも利用できる食堂で、無料または低価格で食事を提供しています。地域住民やボランティアが運営し、食事だけでなく「地域の交流の場」としても機能しています。

こども食堂の特徴

多様な参加者



子どもを中心に、若者から高齢者まで幅広い世代が利用したり、活動に参加したりしています。

多様な活動



食事の提供だけでなく、学習支援やレクリエーションなど団体によってさまざまです。

私が紹介します



新潟こども食堂・居場所ネットワーク
「にこねっと」事務局
(くびき野NPOサポートセンター)
新保さん

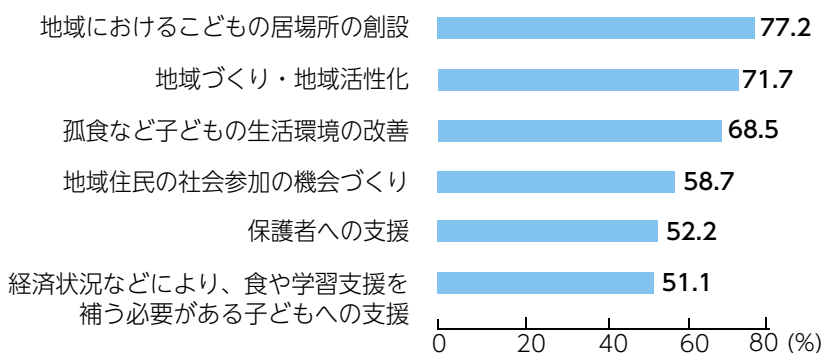
「にこねっと」は、新潟県内のこども食堂やこどもの居場所の県域ネットワークです。子どもが安心して笑顔で過ごせる地域を目指し、各運営団体の支援や、各団体と地域・企業などをつなぐサポートに取り組んでいます。



にこねっと
ホームページ

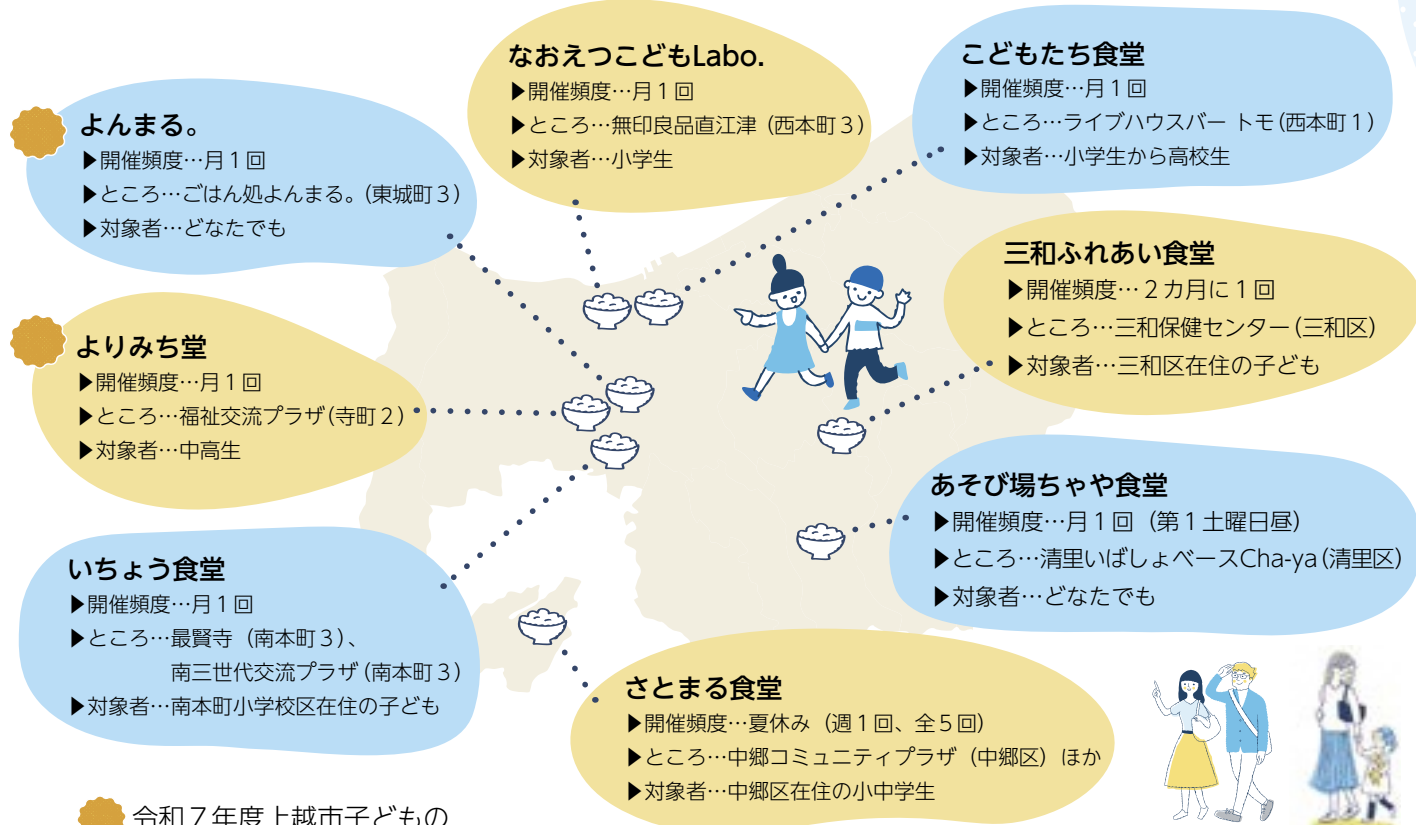
こども食堂を立ち上げた目的

「にこねっと」による県内92団体へのアンケート調査では、回答のあったうち7割以上のこども食堂や居場所が地域づくりを目的としていることが分かりました。各団体ごとに、さまざまな思いを持って運営されていることも特徴です。



(出典) にこねっと「新潟こども食堂・居場所白書2024」を基に作成

市内のこども食堂



令和7年度上越市子どもの
居場所づくり支援補助金活用

(出典) 県ホームページ「県内こども食堂一覧」を基に作成

こども食堂へのさまざまな関わり方

こども食堂の多くは、地域住民や企業などからの寄付やボランティアなど、さまざまな支援を得て運営されています。

まずは、こども食堂に足を
運んでみてください。自分
なりの関わり方を見つけれ
ると思います。



関わりその① お手伝いをする

食事の準備や子どもの見守り、子
どもたちへの体験の提供など、さま
ざまなお手伝
いが可能です。



関わりその② 寄付をする

自分で育てた野菜など食材の提供
や食器・調理器具(未使用品)の寄
付、金銭面での支援など、
さまざまな寄付の形があ
ります。



／ 立ち上げたい人は ／

「上越市子どもの居場所づくり支援補助金」を活用してみませんか

食事の提供、学習の支援、遊びや体験などの機会のいずれかを提供
する「居場所」を新たに開設する人を対象に、補助金を交付していま
す。令和7年度は、この補助金を活用した4団体のうち2団体がこど
も食堂を立ち上げました。

●補助金額＝上限10万円



詳しくは



こども家庭センター
齋藤主事



こども食堂を運営している団体に思いを聞きました

多様な参加者同士の出会いを大切に



あそび場ちゃや食堂

(清里いばしょベース Cha-ya)

代表 高木さん

千葉県から地域おこし協力隊として移住し、退任後にこども食堂を開設。申し込み不要で赤ちゃんから高齢者まで、幅広い世代が集う「地域の居場所」となっている。



Instagram

て定着してきたことがうれしいです。

現在は食事の提供に加えて、外遊びの場や地域の居場所として隣接地の整備も進めています。子どもだけでなく、多くの人から自分の居場所として関わってもらえる場所にしていきたいです。

大人1人の参加も、お手伝いしてみたいという方も大歓迎です。



幅広い世代の参加者がみんなで食事を囲む

中高生が自分らしい選択をできる居場所を



よりみち堂

(ユースクリニックにいがた | わがんあいご)

代表 霜鳥さん

フリーの保健師として活動しながら、看護師などのメンバーと共によりみち堂を開設。中高生を対象とした「放課後の秘密基地」のような心地の良い居場所を目指している。



Instagram

私たちは、若者が性や体の悩みなどについて相談できる「まちの保健室」を運営しており、中高生からは「相談の場はハードルが高く、足を運びにくい」という声がありました。もっと気軽に立ち寄りやすい場所を作るため、市の「子どもの居場所づくり支援補助金」を活用し、令和7年11月から月1回、おいしい物を食べながら雑談できる居場所「よりみち堂」を開催しています。

運営に当たっては、進路などの大きな選択をする前の中高生に、食べた



大学生ボランティアと一緒に食事の用意

＼ 立ち上げたい人、支援したい人、利用したい人へ ／

こども食堂の相談窓口

- 「にこねっと」事務局（くびき野NPOサポートセンター内、☎025-522-6639）
- こども家庭センター（☎025-520-5725）

